実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

助成年度	令和８年度
助成団体	愛知県刈谷市
事業細目名	スポーツ教室、スポーツ大会等開催（地方）
事業名	アジアパラ競技大会開催記念市民ボッチャ大会
助成金額	753,000 円

地方公共団体スポーツ活動助成で愛知県刈谷市が開催する「アジアパラ競技大会開催記念市民ボッチャ大会」の実施状況について調査を行いました。

刈谷市の中心市街地にある刈谷駅では、コンコースやペデストリアンデッキなどさまざまな場所で 9 月から初めて愛知県で開催されるアジア・アジアパラ競技大会の広報がされており、大会の開幕がいよいよ間近に迫ってきていることを感じさせる雰囲気でした。

アジアパラ競技大会の会場にもなっている刈谷市では、大会の機運醸成を図り、かつ、大会を機に障害者理解を深めて共生社会の醸成を図ることを目的としたパラスポーツイベントを行うことを計画し、障害の有無に関わらず老若男女誰でも楽しめること、また、「目指せ！ボッチャの盛んなまち刈谷」をスローガンに活動している刈谷市社会福祉協議会や刈谷市ボッチャ連盟の協力も得られたことから、市民ボッチャ大会を開催することにしたそうです。

本大会は、調査日の 8 月 29 日に小中学生の部が行われましたが、来年 2 月 27 日には市民交流の部が行われます。アジアパラ競技大会閉幕後に市民交流の部が行われるのは、ボッチャ市民大会の開催によって、アジアパラ競技大会の盛り上がりの火を消さずに、共生社会の醸成に資する取り組みを継続していきたいためとのことでした。

■助成の意義

今回助成金を受けることで、アジアパラ競技大会でボッチャ日本代表の経験がある梅村祐紀選手を招待し、優勝チームとエキシビションマッチを行い、小中学生に生でパラアスリートのプレーを見る機会を提供できたそうです。また、2 月の市民交流の部においても、ボッチャ日本代表選手の招へいも検討されており、大会の盛り上がりが期待されるとのことでした。さらに、調査当日は 48 チーム、123 名が参加する刈谷市で最大のボッチャ大会となったため、協力団体が所持する競技用具では数が足りず、大会運営に必要な分の競技用具の確保にも助成金を活用でき、スムーズな大会運営や今後の継続的な事業実施にも繋がったそうです。

■事業効果を高めるための取り組み

本大会のホームページを作成し周知を図るとともに、小中学生の部については、刈谷市内の小中学校を通じて全ての小中学生にチラシを約 13,000 枚配布したそうです。また、チラシに QR コードを掲載し、専用の申込フォームにアクセスして簡単に申し込みを行えるようにしたところ、定員を超える申し込みがあり、抽選により出場チームを選定したそうです。

今後、市民交流の部については、広報動画を作成して駅や市内循環バスのデジタルサイネージに放映し、広く市民に周知する予定とのことです。

■所感

刈谷市では小中学校の授業でパラスポーツ体験の機会があるそうで、ボッチャ経験のある小中学生もいらっしゃるようでした。未経験の参加者に対しては、初めに競技説明が行われたこともあり、各試合がスムーズに行われていました。また、スタッフのみなさんが温かい雰囲気で判定や指導をする中で、小中学生が楽しみつつ真剣な眼差しで競技に熱中している姿が大変印象的でした。大会参加の記念品としてアジアパラ競技大会のグッズが配布されており、パラスポーツに興味を持ち、また、障害者への理解が深まるイベントだったと感じました。引き続き、このようなパラスポーツによる交流を通じて、障害者と健常者の垣根のない共生社会がより進んでいくことを期待しています。

（令和 8 年 8 月 29 日往査）

（写真）アジアパラ競技大会開催記念市民ボッチャ大会の様子（※写真提供(右)：愛知県刈谷市）



